

関係皆様

前橋市では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、南スーダン陸上競技選手団5人の長期事前キャンプを大会が終了するまで継続して受け入れることとしています。南スーダン選手団は、本市での生活にも慣れ、大会での好成績を目指してひたむきに練習を行っています。そして、このキャンプの費用をふるさと納税で募集していますが、全国の皆様のご協力により、目標額の3,000万円に達することができました。ありがとうございます。

さて、このたび、国が推奨する“東京2020大会のレガシーづくり”の実践として、大会終了後も、南スーダンとのスポーツ交流を継続することとしました。内容としましては、同国の全国スポーツ大会である、“National Unity Day”で活躍した選手を毎年2人ずつ前橋市に招へいし、それぞれ6か月間、日本文化を学びながらトレーニングに励んでいただくものです。少しでも、南スーダンの若者へ夢と希望を与えるとともに、同国のスポーツの振興を支援したいと考えています。

このスポーツ交流に必要な費用は1年間に700万円程度と見込んでおり、これについてもふるさと納税を活用したいと考えています。現在も南スーダン国民の3分の1が難民・国内避難民になっている状況の中、スポーツができる平和な国づくりを担う南スーダンの若者を支援する、このスポーツ交流計画の趣旨をご理解いただき、引き続き皆様のご協力をお願いします。

2021年2月24日

前橋市長

山本龍